

文化の力で大阪に活力を。

# OSAKA\*文化力

No.106

2009 SUMMER・夏

リレーエッセイ

## 私のSWEET水都

ディルクヤン・コップ 在大阪・神戸オランダ総領事

Front Opinion

## 水の都大阪を、磨き、楽しみ、伝えよう

佐藤茂雄氏×伴 一郎氏×二見恵美子氏×堀井良殷 大阪21世紀協会理事長

大阪元気文化を掘り起こせ

## 第1回なにわなんでも大阪検定

大阪ブランド物語

## ミナミ今昔

大阪文化考

## エネルギーの源は大阪人パワーです。

劇団四季・木村花代氏

メセナを探せ

## 大日本除虫菊株式会社

上山直英代表取締役社長

# ディルクヤン・コップ

在大阪・神戸オランダ総領事

## 今年は日蘭史400年の節目

2008年と2009年は日本オランダ年です。昨年は日蘭修好通商条約締結150周年、今年徳川家康から通商許可を得て400周年にあたります。

鎖国をしていた江戸時代、西洋諸国で唯一の友好国であるオランダは日本にとって特別な存在でした。日本人は、オランダ語の書物を通して西洋の最新知識を得る蘭学という独自の学問を編みだしました。進取の気風を持つ若いサムライたちは蘭学を学び、大坂の適塾は日本の屋台骨となる傑物を輩出します。

開国後も、オランダ人は日本の近代化を支えました。阪大医

学部の基礎である大阪の舎密局創立にもオランダ人が寄与しています。そして「水都大阪2009」に際して特筆したいのが、淀川の改修工事と大阪港の築港を指導したヨハネス・デ・レイケもオランダ人だということです。

## 川の景観を裏口から玄関へ

アムステルダムも水都なので、「水都大阪2009」には関心があります。私も大川を船で巡ったことがありますよ。桜並木がきれいでした。しかし建物が道路に面して建っているので、川からの景観は“まちの裏側”のような印象を受けました。

アムステルダムの建物は運河に面して建っており、水辺にはテラスやカフェがあります。水辺のあり方を根本的に見直すことが、水都再生に必要ではないでしょうか。

それに暮らしの中で、船にもっと親しめるといいですね。オランダではセーリングが一般的なレジャーですし、アムステルダムには船に居住できるボートハウスもあります。広々として快適ですよ。土地の狭い大阪も水辺の有効利用として取り入れてはどうでしょう。オランダでは人口密度の増大と水位上昇の対応策として水上建築に力を入れており、ハリケーン被害に遭ったニューオーリンズ復興にも技術者が派遣されています。

## 自由な空気が柔軟な発想を生む

かつてオランダは日本へ西洋の技術を伝える手助けを行いました。今、両国に必要なのは技術ではなくアイデアの交流です。

水都だけでなく、オランダと日本には共通項が多くあり、経済や文化の分野でさまざまな取り組みが活発に行われています。私たちが「チューリップと風車」というステレオタイプではないオランダを発信していきたいと思っています。たとえばアートもその一つ。昨年の「フェルメール展」にはのべ80万人もの入場者がありました。また「100%デザイン東京2008」に出展したダッチデザインも

高い評価を受けました。「どうしてオランダのアートシーンは元気がよいのですか」と聞かれると、私はよい美術学校があることに加えて「若い芸術家が自分らしさを表現できる自由な都市の空気」と答えています。

新進画家が描いたオランダ女王像。伝統と現代の融合、自由闊達な市民社会を象徴するかのようだ。



### ディルクヤン・コップ (Dirk Jan Kop) 氏

- 1986年 オランダ外務省入局
- 87～89年 在モスクワ大使館政治・文化広報担当三等書記官
- 89～92年 外務省国連政治問題部非核軍備管理課化学兵器政策担当官
- 92～96年 在ロシア・サンクトペテルブルク総領事館領事兼総領事代理
- 96～99年 外務省総務局亡命者保護・移住課上級政策担当官
- 99～00年 外務省人的移動・移住・領事問題局法務・内政問題および司法・警察協力課上級政策担当官兼課長代理
- 00～05年 在ウィーン国連オランダ政府代表部大使館評議員兼公使
- 05年～ 現職

# 水の都大阪を、磨き、楽しみ、伝えよう。



大阪の都心部には、世界にも稀な、川による水の回廊(大川・土佐堀川・堂島川・木津川・道頓堀川)があります。そして、この貴重な存在を生かして、「水の都」の魅力をもっと磨き、楽しみ、伝えようという気運が高まっています。今回は、そうした水都大阪の再生にご活躍の方々と、川に繰り出してみました。

ゲスト

佐藤 茂雄氏(京阪電気鉄道株式会社代表取締役CEO)

伴 一郎氏(伴ピーアール株式会社代表取締役/PRプロデューサー)

二見 恵美子氏(E.M.Iプロジェクト代表/環境デザイナー)



聞き手 堀井 良殷  
(大阪21世紀協会理事長)





大川(桜之宮付近)

## 水辺のある都市の魅力

堀井 初夏の日射しの下、二見さんには日焼けがちょっと申し訳ないのですが、少しの間おつき合いを。さて、大阪は面白いことに20年ごとに都市の節目を迎えています。1970年の大阪万博、1990年の国際花と緑の博覧会、そして今年の『水都大阪2009』。今回は、大阪の水の回廊というユニークな特性を生かして、まちの魅力をもっと磨いていこうという運動の幕明けであり、今年を水都大阪のシンボルイヤーとして位置付けています。まずはレディーファーストで、水都大阪への思いなどを。

二見 今日はお天気も良く気持ちいいですね。たまに船に乗る機会があり、ここから見る夜景が好きです。私は祖父母の代から大阪の生まれ育ちで、祖父から道頓堀で泳いだことや大川に水練学校があった話を聞きました。私の子どもの頃はすでに汚れていましたが、今、だんだん水質がきれいになっていくことをとてもうれしく思っています。

伴 大阪の都心部の川は「臭い、汚い」と言われ続けてきましたが、ここ数年でかなりきれいになってきました。大川の水をすくってお見せすると、その透明度に皆さん驚かれますね。大阪は、これまでみにくいアヒルの子だといわれてきましたが、本当は白鳥になる都市。そろそろ自慢していいと思います。

佐藤 私が大阪の川と最初に関わったのは、昭和58年の大阪城築城400年まつりでした。京阪グループで水上バス事業をはじめたんです。長く赤字でしたが、

なんとか頑張って今やっと花が開きつつあります。だから水の都大阪に対する思いは強いですね。

堀井 昭和58年といえば、当協会の初代・松下幸之助会長が大阪21世紀計画を宣言し、その翌年に大阪21世紀協会が発足して、大阪の都市格向上を志した年です。

伴 私の父は、戦前、大阪商船に勤めていました。会社のあった中之島の大ビル(大阪ビルディング/1923年築)はハイカラな建物でしたが、冷房設備がなかったものですから、夕方になると船を出して、ときにはお茶屋さんから芸妓さんと呼んで夕涼みを楽しんだと聞きました。

佐藤 夕涼みといえば、昨年、ビーチバレーの関係者を集めて、船にワインを持ち込んで中之島を一周しました。きれいな夜景に感激しましたよ。とくに外国人のたちが喜んでいました。

堀井 市民の楽しみはもちろん、観光客に「大阪に行ったら、必ず船に乗る」といわれるほどにしたいですね。私は東京からのお客さんを案内するとき、船に乗るコースを入れています。別れ際に大阪のどこが一番印象に残ったかを聞くと、皆さん異



口同音に「船が面白かった」っておっしゃいます。水の回廊を、観光資源としてもっと磨く必要を感じますね。緑の要素も欠かせないと思います。

二見 東京の都心の川は護岸がとても高く、船に乗っても谷底にいるようで居心地が悪い。一方、大阪の川は東京に比べてずっと開放的ですから、風景が楽しめます。場所によって樹木の種類を変えたり、エリアごとに緑を主体にしたり、建物を主体にしたりすることで、まちの彩りや印象が随分深くなると思います。また、夏の気温は東京に比べて大阪は2~3度高い。それも水辺を生かすことで、ずいぶん涼しくなりますね。

堀井 木津川には柳、大川には大阪市の市花の桜、中之島はバラというようにね。東横堀川は高速道路でふさがれていますから光を使った景観整備、道頓堀川ではネオンが繁華街の情緒を醸し出す。そんなデザイン感覚を利かせて水の回廊に磨きをかければ、それぞれの川に個性ができて、売り込みやすくなるでしょう。

佐藤 緑があれば蝉の声も聞きたい。南フランスのプロバンスにいったとき、土産物店の主人が「パリに蝉はいないが、ここにはいる」って自慢していました。中之島の木々が育って蝉がいっぱいいて、「中之島には蝉がいるけどシテ島にはいないだろう」と自慢したいですね。

二見 ワンドをつくってヨシなどを植えると、野鳥もやってきますね。私は今、大阪国際会議場近くの護岸整備事業に携わっていて、そこに多孔質の石張りの護岸を作

### 二見恵美子(ふたみ えみこ)氏

1987年、E.M.Iプロジェクト設立。都市景観コンサルティングをはじめ、音楽や美術のプロデューサーなど活動は多彩。2006年には大阪水都ロマン・ベシヤルコンサート(主催・大阪市)を企画。著書『二見恵美子のLANDSCAPE STYLE(パールバック出版)』他。

ろうとしています。石に藻が張り、魚が生息すると自然生態系がもどり、水が浄化されてゆきます。

### 子どもたちが憧れる大人文化を

伴 かつての大阪は、大きな観光都市でもありました。そこで観光客は、大阪で見聞きしたことを全国に伝播させたんです。例えば大阪城は、関東大震災を教訓にして、昭和6年に世界でいち早く鉄骨鉄筋コンクリート構造で建設されました。当時最先端のハイテクビルだったんですね。これを見た外国人は、日本の建築技術のすごさを土産話にして世界に伝播させたでしょう。ちなみにアメリカでは、同じ年に当時世界一高いエンパイアステートビルができていますが、これは大阪城とは構造が違います。そんな土産話ならいくらでもあります。千利休が八軒家浜から船に乗ったとき、侍が腰の刀を外して町人と同じように頭を下げるようにして船に乗り込む姿を見て、茶室の「にじり口」を思いついたそうです。茶の湯のルーツは船にあるんです。

堀井 そんな話を聞きながら、いつでも川の上から大阪のまちを楽しめるようにしたいですね。アメリカのサンアントニオには乗合いの観光船があって、粋な姿の船長がまちを案内してくれます。大阪でもそうした観光船にいつでも乗れるようにしたいですね。

佐藤 船といえば、関西で最初にボートレースを行ったのは堂島川です。明治20年代のことです。今でもこの大川で大阪市立大学のボート部が練習しています。今年5月、琵琶湖で行われた第62回朝日レガッタでは、市大が男子舵手付フォアの部で優勝しました。地元の川で鍛えられた、地元の大学が活躍しています。

二見 英国北部の都市のケンブリッジで、ドレスアップした男女がケム川の両岸で

レガッタを観戦しているのを見て、素敵だなと思いました。ワイン片手に、船の上で夕涼みっていうのもお洒落ですね。

伴 そんな船遊びが盛んになると、子どもたちも大人がカッコ良くみえて、憧れるでしょう。

### 都心にこそ必要な緑のかたまり

堀井 大阪21世紀協会は、「水の都大阪を磨こう」と、この7～8年さまざまな提言をし、推進してきました。伏流水が大きな流れになって、今やっと表面に出てきた感じですね。今後は具体的な運動に継続発展して欲しいと思っています。ところで、大阪・関西の将来を考えたとき、次に何を重点に取り組むべきかという問題もあります。中之

島はもとより、ベイエリアや梅田の北ヤードなどをどうしていくのか。とくに北ヤードは第1期先行開発以降のプランは、まだ手付かずです。

佐藤 大阪・関西の将来を考えると、関西国際空港の存在がとても重要だと思います。大阪には京都や奈良といった集客力の高い後背地があるし、関西から入った人や物は、大阪経由で全国に散ら



大川・桜宮橋 (通称:銀橋)

ばっていきます。かつて大阪は「天下の台所」と呼ばれ、人や物の集積地として発展しました。その歴史から学べば、関空を成田空港とならぶ日本のハブ空港として位置づけ、人や物がどんどん入ってくる仕掛けづくりが必要だと思います。大阪は、そのための結節点だという認識で、中之島や北ヤード、ベイエリアの将来的活用

を考えなくてはならないと思います。

堀井 関空と北ヤードは直結しますからね。物流面では、船便と航空便を組み合わせたシップ&エアーで、関空とベイエリアの一体的活用も考えられます。

二見 大阪が国際都市であるためには何が必要かという話になったとき、海外から来る有識者のほとんどは、「町の真ん中に広大な公園を持つことが必要」と口を揃えます。中之島公園や靄公園は、ロンドンのハイパークやニューヨークのセントラルパークには遠く及びません。私は、大阪都心部にまとまった緑を確保できる最後の砦が北ヤードだと思います。パリのリュクサンブール公園が北ヤードと同じくらいの広さです。北ヤードの建築群に屋上庭園や壁面緑化を施すなどして立体的な緑化

### 伴 一郎(ばん いちろう)氏

1986年、PR会社・伴ピーアール株式会社設立。90年の花博を機に大阪のPR活動に力を入れ、94年オーストラリアで30万人規模の天神祭を成功に導く。「くだおれ人形」や「かに道楽」などの看板キーホルダーがヒット。03年から舟運事業部を設立。



大川を行く水陸両用バス(桜之宮付近)

を工夫すれば、かなり大きな緑のかたまりが  
つくれるのではないのでしょうか。

**堀井** 北ヤードの総面積は約24ヘクタール。第2期の残りの17ヘクタールの開発  
プランは未定です。関空と直結した結節  
点としての北ヤードが、緑に包まれている  
というのも面白いアイデアですね。梅田  
に森をつくる運動があってもいい。

**二見** 緑はお金を生まないと思われがち  
ですが、人々は潤いのあるところに集まり  
ますから、長期的に見ると緑化による経  
済効果は期待できます。水と緑で大阪を  
アピールする良いきっかけにもなるでしょう。  
**堀井** もし関西州ができれば、北ヤードに  
州政府を置けばいい。建物を半地下にして、  
上を緑で被うとか。

**伴** 「おじいさん・おばあさんの木」とい  
うのはどうでしょうか。お年寄りに大阪で生  
きた証として植樹してもらい、子孫に環境  
意識をつなぐ。おじいさんは亡くなっても  
子孫を思う気持は木に残り、大阪のCO<sub>2</sub>  
を吸って酸素を出してくれているってね。

**二見** そのお年寄りの孫やひ孫が木登  
りをしている姿を想像しただけでワクワク  
しますね。

**堀井** 将来的なオフィス需要がどうなる  
のか、いまはとりあえず緑で被うのは良い  
計画だと思いますね。そのためには、土地  
取得のために国の理解を得なければなり  
ません。

## 人・モノ・文化の交流拠点 として

**佐藤** 先ほど、関西国際空港を  
入口として、人やモノがどんど  
ん入ってくる仕掛けづくりの重要性  
を話しましたが、関空との関係で  
いえば、大阪はコンベンション都  
市としても位置づけられます。そ  
のためにも、シンガポールのように

に都市環境をしっかりと整備しなくてはなり  
ません。

**堀井** なるほど。北ヤードに緑に包まれ  
たコンベンション機能を持たせることもア  
イデアですね。

**伴** 文化交流のためには、大川を舞台に、  
瀬戸内海や琵琶湖・淀川流域の自治体  
が連携して、何か発信できればいいですね。

**堀井** 八軒家浜棧橋に自治体の旗をず  
らっと立ててね。文化交流の拠点だとい  
うイメージがつけれます。旗がはためくのは  
面白いですよ。

**佐藤** それはいいい。ぜひやりましょよ。

**伴** 自治体がPRに使ってくれてもいい。  
滋賀や京都の子どもたちがここで自分の  
まちの旗をみつけて、みんな川でつなが  
っているんだということを実感するでしょう。

**堀井** 水の都大阪に、また新たな賑わい  
が生まれそうですね。さて、いよいよはじま  
る水都大阪2009では、アートを中心として  
さまざまな市民参加プログラムが予定され  
ていますが、水都大阪の賑わいづくりに  
ついて、どのようなご意見をお持ちですか。



**佐藤** 水上バス事業をはじめて以後、ず  
っと水都大阪の魅力づくりにかかわり、今や  
と形になってきた感じがします。水都大阪  
2009についても、単発のイベントではなく、  
継続して水の都をつくるムーブメントにし  
なければならないですね。

**伴** 水都大阪のシンボルイヤーを契機に、  
大人文化の復興を願います。私たちの父  
親の時代は、昼から晩にいたる間に「夕方」  
を楽しむ時間がありました。川に船を出し  
て夕陽を楽しんだり、水辺の散策を楽しん  
だり、大人であることを楽しむ「夕方文化」  
がありました。また、大阪でコンベンション  
を行うのであれば、それに同行されるご婦  
人方も一緒に楽しめるまちであってほしい。  
そうした上質な大人文化によって、大阪  
人に自信と誇りが取り戻せると思います。

それと、大川といえば天神祭りですね。  
**佐藤** 私たちは天神祭に1週間ぐらいか  
ければどうかと提案しています。

**堀井** 大阪では夏祭りが7月に集中して  
います。愛染祭りにはじまって住吉大社  
の茅(ち)の輪くぐりまで、一か月間あちら  
こちらでお祭りがあります。そうした祭りを、  
例えば「大阪夏祭りめぐり」といったストー  
リーに仕立てて、全体的な賑わいづくりと  
して展開すれば面白いと思います。

**伴** 大阪は夏越し(なごし)の祭りといっ  
て、疫病の流行しやすい都会の夏を祓う意  
味で夏祭りが多いんです。

**佐藤** 食べ物をはじめ、祭りごとにいろ  
んな楽しみ方がありますから、「大阪夏祭  
りめぐり」は面白いアイデアですね。

**堀井** 水辺の楽しみにはじまり、淀川流  
域での文化的連携、関西国際空港を入  
口とした交流の仕掛けづくり、さらには都  
心緑化や夏祭りなど、水の都大阪を磨く  
さまざまなアイデアが泉のごとく湧き出  
てきました。どうもありがとうございました。

(2009年6月2日/中之島~大阪城付近・  
アクアミニ船上にて)

### 佐藤茂雄(さとうしげたか)氏

1965年、京阪電気鉄道株式会社入社。2001年  
同社取締役社長、07年より同社代表取締役  
CEO取締役会議長。(社)関西経済同友会理事・  
常任幹事(04年~)、関西ボート連盟会長、大阪  
商工会議所副会頭(05年~)など公職多数。

# コテコテの大阪イメージを払拭

## 第1回「なにわなんでも大阪検定」実施

東京のメディアを中心に流布されている何でもコテコテな大阪像に、辟易している人は多い。さらに嘆かわしくは、大阪人の自虐癖によって、自らを貶めるイメージを増幅させている現実。このままでは大阪はますます自信を失ってしまうと、大阪商工会議所が一計を案じた。

今年6月21日、大阪市立大学(住吉区)と大阪工業大学(旭区)の2会場で実施された「第1回なにわなんでも大阪検定(大阪商工会議所主催、大阪21世紀協会等共催)」は、いわゆるご当地検定ブームに乗ったものではない。大阪検定企画会議座長の橋爪紳也大阪府立大学教授は、『大阪の教科書』の序文で、この検定を「大阪人としての自信と気概を回復する運動」だと位置づけている。その思いが叶い、受験者数は、目標の5,000人を上回る5,822人(3級3,964人、2級1,858人)。80%は大阪府内の受験者で、その他北海道から九州まで、全29都道府県から9歳～92歳までの幅広い年齢層が受験し、“ほんもの大阪”への関心の高さが示された。

出題は3級・2級ともに100問。大阪にまつわる言葉、歴史、文化、生活などジャンルは多彩で、90分の制限時間内に3級で60%、2級で70%正答すれば合格となる。1級は2級合格者を対象に来年度以降の実施が予定されている。

「単に知識を検定するだけではなく、多くの人々が大阪に関心を寄せるきっかけを作り、大阪全体のブランド力を上げるのがねらい。とはいえ合格すると大阪の各種施設利用が割引になる特典もありますから、実益目的の受験も大歓迎(地域振興部・中野亮一課長)」

大阪への関心を促すのが目的であるため、出題文自体が大阪のブランド情報の解説になっている。なかには答えのヒントが含まれている問題もあり、全体的に問題文は長い。

試験には平松邦夫大阪市長や野村明雄大阪商工会議所会頭をはじめ、在阪企業のトップたちも受験した。3級の試験後、野村会頭は「50問は大丈夫。だから合格しても最下位、落ちても惜敗」と苦笑しつつ、「受験者の多さに大阪に対する関心の高さ、大阪情報を発信する大切さを改めて実感した」と語った。



出題基準となった大阪検定公式テキスト「大阪の教科書(創元社刊)」

試験風景(大阪市立大会場にて)  
(写真提供:大阪商工会議所)



### ..... 第1回の出題(抜粋) .....

#### 3級

- A 標準語で「ものもらい」を意味する大阪ことばで、身体に関する名詞は?  
1)そげ 2)めばちこ 3)さぶいぼ 4)かさぶた
- B 「源氏物語」の住吉詣の場面の歌です。  
「< >恋ふるしるしにここまでも めぐり逢ひける縁は深しな」< >の空欄には現在の大阪市の市章にもつながる言葉はいります。次のうちどれでしょう?  
1)きをつくし 2)てをつくし 3)なをつくし 4)みをつくし
- C 本年3月20日、阪神なんば線が開業し、近鉄・阪神の相互乗り入れによって、三宮～奈良間が一本で結ばれることになりました。これを機に、阪神線と近鉄線をつなぐ近鉄難波駅の名称が変更になりました。この駅の現在の正式名称は何でしょう?  
1)阪神難波駅 2)阪近なんば駅 3)大阪難波駅  
4)なにわ難波駅

答え/A-2、B-4、C-3

#### 2級

- A 大阪人が普段、大阪ことばと意識せずに使っている大阪ことばも多数あります。次の文具関係のことばのうち、大阪・関西以外の地域で、最も理解されにくいことばはどれでしょう?  
1)ホッチキス 2)けしゴム 3)筆ペン 4)おしぴん
- B 次の文章は井原西鶴の代表的な浮世草子の作品の一部です。この作品名は何でしょう?  
「諸国の大名衆への御用銀の借入れの内談を、酒宴遊興よりは増したる世の慰みとおもひ定めて、寄合座敷も色ちかき所をさつて、生玉・下寺町の客庵を借りて…」  
1)雨月物語 2)好色一代男 3)浮世物語 4)世間胸算用
- C 2008年(平成20年)10月19日、京阪本線の天満橋駅から分岐して中之島線が開業し、新たに四つの駅が設けられました。次のうち、中之島線に存在しない駅名はどれでしょう?  
1)なにわ橋駅 2)大江橋駅 3)渡辺橋駅 4)天神橋駅

答え/A-4、B-4、C-4

# エネルギーの源は大阪人パワーです。

## 行動力、根性、笑顔：

世界1700万人が観た「ウィキッド」の大阪公演を今秋予定している劇団四季。現在は大阪と京都に専用劇場があり、大阪四季劇場では「55steps ソング&ダンス」が公演中。京都劇場では数あるレパートリーのなかでも、とくに人気の高い「美女と野獣」がロングラン公演中だ。主役のベル役のひとり进行する木村花代さんは、ミュージカルには、大阪・関西人のパワフルな気質が合っていると語る。

### 中学生で演劇に目覚める

---いつ頃から舞台女優の道を歩もうと考えられたのですか。

中学の時に演劇部に入り、そこで舞台の楽しさを知りました。この道を進みたいとお稽古を始めたのが高校2年生くらいからでしょうか。ちょうど3年の夏に劇団四季の関西オーディションがあり受験したのが始まりです。卒業後1年間、地元、守口市の松下



電工さんでお世話になりながらレッスンを重ね、晴れて35期生として入団が決まりました。

---それからは次々と重要な役に抜擢されて…

いえいえ、端から見るとトントン拍子のように見えるらしいのですが、劇団内のオーディションを受けて落ち続けた役もあります。幸運に役をもらっても毎回それを乗り越えるのに必死です。初めの頃は悩んで母に泣きながら電話したこともありましたが、大阪に帰ろうとは思いませんでした。それは自分に負けるということですから。最近では、任された役に自分なりに納得するまで取り組みますが、気負い過ぎずに、いいプレッシャーとして受け止めていきたいと思っています。

### 関西弁の心地よさ

---ご活躍と歩みを合わせるように関西にも常設の劇場ができましたね。

大阪、京都に劇場ができて、私の同級生を含め、関西のお客様にたくさん観ていただけるようになり、うれしいですね。関西公演の休演日には実家に帰って家族と過ごしますし、この前も同窓会をしました。やはり、私にとって大阪は落ち着く場所です。何よりも大阪の言葉が飛び交う中にいるのが居心地がいいし、関西弁で喋ると心が開放される気がします。

---木村さんにとって大阪はどんな存在でしょうか。

帰ってくるたびに元気をもらえる町です。このパワフルさを失わずにいてほしい。いつも活気ある町でいてほしいですね。大阪の人たちは行動力、根性、笑顔が飛び抜けています。劇団内でも関西出身の先輩から関西人根性で頑張れ、と励まされましたし、私自身、関西で培われたパワーがあったからこそここまでやってこれたんだな、とつくづく思います。関西の方はざっくばらんで、おおらかですが、内に秘めた芯は強いですね。

### 一瞬一瞬をていねいに生きていきたい

---木村さんの活躍を見て、関西から舞台人をめざす人たちもいると思います。

私もずっと、どこにいてもやればできると思ってきました。自分がほんとうにやりたいことは何なのかを見極めて、諦めなければ道は拓けてくると、今も信じています。「美女と野獣」のベルではないですが、強く信じれば願いは叶う、と思っています。

---これからの夢は？

これまでは、たとえばオペラ座の怪人のクリスティーンがやりたいとか、新しい役に取り組んで、がむしゃらに頑張ってきた道のりでした。いろんな役をやらせていただいた今、芝居や歌をもっと深めていきたいと思っています。これからの人生も一瞬一瞬をていねいに生きるというか、噛みしめて生きていきたいですね。歩く速度をゆるめて、リラックスしながら視野を広げ、素敵な俳優になれたらいいというのが夢ですね。

木村花代(きむらはなよ)さん

1997年、劇団四季研究所に入所し、「美女と野獣」で初舞台。翌年、「エルリックコスモスの239時間」の主役・エルコスに抜擢される。以来、「マンマ・ミーア! (ソフィ役)」、「オペラ座の怪人 (クリスティーン役)」など、数多くの主役で活躍。



商品開発、領事館職、地域交流

## 企業活動そのものが社会貢献



代表取締役社長 上山直英氏

世界で初めて除虫菊に含まれる天然殺虫成分を解明し、日本の家庭用殺虫剤産業のさきがけとなった、キンチョウこと大日本除虫菊株式会社。同社は今年で創業124年、大阪・土佐堀通りに本社を構えて94年になる。

もともと除虫菊はユーゴスラビア（現セルビア共和国）が原産。同社の事業は、1890（明治23）年、創業者の上山英一郎氏がアメリカの植物会社社長からその種子を入手し、世界初の『蚊取り線香』を考案したことにはじまる。

その後、英一郎氏は自ら「除虫菊栽培書」を作って全国の農家に無料で配付。全国新聞に「除虫菊種苗大々的分譲」と広告するなどして、原料の安定確保に努めた。やがて生産量は増大し、1920年代には日本の除虫菊の輸出量は、本家ユーゴスラビアに匹敵するほどに。1929（昭和4）年、ときの国王・アレキサンドル1世は、除虫菊の用途開発と生産量を拡大した英一郎氏の功績を称え、大阪駐在ユーゴスラビア王国名誉領事の称号を贈った。

その後、第二次世界大戦や東欧の政情不安などから同社との親交が途絶えていたが、2004（平成16）年、現社長の上山直英氏のもとに、再び在大阪セルビア・モンテネグロ（当時／旧ユーゴスラビア）の名誉総領事就任が打診された。

「突然のお話に驚きましたが、当社が今日あるのは代々の経営者が同国と親交を育んできたからこそ。会社として喜んでお引き受けすべき仕事であると思いました（上山社長）」。1世紀を越える日本とセルビア両国の友好関係は、同社を介してさらに深められている。

上山社長はまた、「当社の事業そのものが社会貢献活動」という。日本脳炎の罹患者が近年激減しているのは、医療の進歩もさることながら、同社製品によって感染源の蚊を寄せつけない習慣が根づいたことも大きい。そうして得た経営資源の一部を、同社は、大阪府の文化振興基金創設への援助をはじめ、天神祭への『能船』への協賛やbjリーグバスケットボールチーム『大阪エヴェッサ』へのスポンサー参加、和歌山県での森林保全活動などに活用。地域文化の育成や地域社会との密接な関係づくりにも意欲的である。

また、キンチョウといえばユニークなテレビCMでも知られている。商品は夏の一時期に集中して売れるため、CMはインパクトを最重視。『ハエハエ、カカカ』『油とちやうちやう』『タンスにゴン』などのフレーズとともに、キンチョウの名前を日本中の茶の間に浸透させてきた。なかでも意表を突いたのが、『ルーチョンキ』。商品名をあえて逆読みしたのであるが、訴求力を高めるためには、商品名を正しく伝えるというCMの大原則すら覆してしまうのが同社ならではの活動である。

「売れるCMを作るのはプロの仕事。新しく、珍しく、奇抜な発想であれば、それ以上に私たちが注文をつけることはない（上山社長）」。CM制作に対してはビジネスライクな考えの上山社長であるが、自由な発想を大事にするという気概が結果として有能なクリエイターを育て、社会貢献を果たしているのも事実である。



本社（手前は国立国際美術館）



本社受付に掲げられたセルビア共和国名誉総領事館の証



除虫菊を栽培保存（尾道市立美術館内）



天神祭「能船」への協賛



bjリーグ「大阪エヴェッサ」スポンサー参加

大日本除虫菊株式会社

大阪市西区土佐堀1-4-11 <http://www.kincho.co.jp/>

### 鴨なんばんと戎橋筋

大阪はミナミ、「難波」に由来する食べ物に「鴨なんばん」がある。江戸時代、難波村は一面のネギ畑で、そのうまさは評判だった。やがてネギを具材にした料理は「～なんば」と呼ばれ、鴨肉と合せたうどんは「鴨なんば」。それがいつしか「鴨なんばん」に訛って広まったといわれている。

当時、難波村は今宮戎神社と道一本でつながっていた。大坂夏の陣で豊臣氏が滅んだ元和元年(1615年)、町衆たちによって道頓堀川に「戎橋」が架けられると、この道は御利益祈願の人々が行き交う参道に。参詣客を目当てに食べ物屋をはじめさまざまな店が軒を連ね、「戎橋筋」の賑わいが生まれた。

江戸末期から明治初期になると、戎橋の南にあたる道頓堀界限は、人形浄瑠璃や歌舞伎などの芝居まちとして一層賑わった。芝居茶屋は50軒を超え、多くの芸妓を抱える宗右衛門町は、商家の番頭や手代たちの格好の遊び場となった。

### ミナミの情緒を守ろう

江戸時代、大阪市中は天満組・北組・南組の三郷に分けられ、北組と南組はおおむね本町通りあたりを境としていた。北組には中之島・江戸堀の蔵屋敷に近い堂島新地(後の曾根崎新地)があり、南組には道頓堀の芝居町や島之内の遊里を抱える歓楽街があった。その名残から、梅田界限の歓楽街を「キタ」、難波界限を「ミナミ」と呼ぶようになったといわれている。とくにミナミは、旦那衆が接待によく利用した堂島新地や新町(西区)に比べ、庶民的な歓楽街の風情があった。

# ミナミ 今昔

しかし、時代が昭和から平成へと移るなか、ミナミの趣きは急変する。道頓堀の芝居小屋は次々と姿を消し、宗右衛門町では芝居茶屋ならぬ風俗店が通りを席卷。平成16(2004)年には悪質な客引きなどもピークに達した。こうした状況に危機感を募らせた地元商店主たちは、警察や行政、各団体とも力を合わせ、ミナミの環境浄化に乗り出した。そして平成17年には改正迷惑防止条例の施行も奏功し、現在、健全な賑わいが取り戻されつつある。

### 伝統とトレンド

ミナミでは今、かつて当地で賑わった文化を再興し、新たな活性化をめざそうという気運が高まっている。例えば地元商店会や企業、行政などで構成する「ミナミまち育てネットワーク(名誉会長:堀井良殷大阪21世紀協会理事長)」では、映画・ジャズ・食をテーマに毎年10～11月に「ミナミ芸術祭」を開催。今年で第5回を迎える。

同祭の目玉企画は「ミナミ映画祭」。日本の映画興業が南地演芸場(現南海難波駅前・丸井百貨店)で始まったことに由来し、ミナミを舞台にした昭和の名作が各所で上映される。また、ジャズは大正時代に上海から入ってミナミで大流行したことから、今年も各所で演奏会を開催。祭期間だけ限定販売されるミナミブランドのビールやワインなども好評で、今年は「ミナミ焼酎」の新登場が目されている。

ミナミをこよなく愛する人たちによって、ミナミは伝統とトレンドがほどよく調和したまちに変わろうとしている。

宗右衛門町



戎橋



道頓堀



◆大阪ブランド情報局は、大阪のさまざまなブランド資源情報を発信するホームページです。  
その最新情報のいくつかをご紹介します。

## web放送局プロジェクト、立ち上げ!

大阪21世紀協会では現在、“web放送局”というコンセプトのもと、webサイトのリニューアルを行っています。テーマは「イベント・雑誌・マスメディアとの連動」「ユーザーとの双方向性を持たせたリアルタイムの情報発信」。メインコンテンツとしては、関西発の様々なイベント情報を網羅した、ユーザー参加型の情報発信ポータルサイト「Kansai Art Stream」、大阪で行われるさまざまな講座・ワークショップを一堂で紹介するコラボレーション型のポータルサイトなどを予定しており、今秋以降に順次立ち上げていく予定です。

## 「多士彩才」取材進行!

重里欣孝氏  
サトレストランシステムズ株式会社 代表取締役兼執行役員社長、食博2009理事長

高島幸次氏  
大阪大学CSCD招聘教授

北川フラム氏  
水都大阪2009プロデューサー



重里欣孝氏

## 関空でウエルカム映像放映中

関空の税関エリアで、到着客に大阪や関西に好印象を持ってもらうための映像が放映されています。これは、大阪21世紀協会が大阪や関西の知名度や好感度を上げるために、海外からの訪問客がまず足をとめる荷物うけとりエリアに映像の放映を提案し、関空とこのエリアを管轄する税関のご協力とご理解を得て実現したものです。パナソニックのご協賛で50インチディスプレイ16台の提供を受け、今年5月から開始されました。

映像の内容は、歴史や伝統のなかでビジネス最先端都市として発展している大阪の街を紹介するとともに、京都、奈良、神戸など魅力的な都市が近接しているので関西の魅力を楽しんでほしい、と呼びかけています。

大阪や関西の魅力を訴えるためには映像で見ってもらうのが最も効果的であり、大阪21世紀協会では、今後も各方面に映像を提供していく予定です。



テープカットする人間国宝の吉田義助氏(左)と「静御前」

## 伝統芸能公演・展覧会情報誌 MEET OSAKA vol.28発刊!

関西の伝統芸能とミュージアムの選りすぐり情報をお届けする、季刊「MEET OSAKA」の最新号(7月10日号)が発刊されました。夏真っ盛りの今号は、関西一円で催される新能をはじめ、夏ならではの情報が満載です。

巻頭には伝統芸能に関するミニ知識を掲載。今号は能舞台のつくり方に注目しています。現代の額縁舞台とはかなり仕様の異なる能舞台は、かつて屋外にあったころの名残を色濃くとどめています。「能舞台はなぜ建物のなかでも屋根があるの?」「舞台後方でじっと舞をみている人の役割は?」など。

日英併記で海外からの観光客にも好評です。MEET OSAKAは、近畿一円の空港、主要駅、ホテル、ツーリスト・インフォメーションなど約200箇所まで配付中です。ぜひご活用ください。



## 交流サロン・21cafe <第17回>開催

平成21年7月28日/大阪大学中之島センター

ゲスト:塩屋 俊氏(映画監督)

大阪からアジア、そして世界へ ~大阪文化力の発信~

岸和田を舞台にした青春映画「ビートキッズ」をはじめ数々の作品でメガホンをとり、プロ俳優の養成スクールも主宰する塩屋俊氏。現在は大阪を舞台に4本の映画を製作中で、その撮影秘話や“映画のまち・大阪”への思いなどが語られました。また、大阪21世紀協会制作(監督・塩屋俊)の大阪プロモーション映像「Brilliant Osaka」のお披露目上映も行われました。



塩屋 俊氏

# いよいよスタート

つくる・あそぶ・はなす・観る 大阪の魅力を体感する

水都大阪2009  
2009年8月22日～10月12日開催

## メインプログラム「水辺の文化座」

### 市民参加・100のアートプログラム

「川と生きる都市・大阪」をテーマにした「水都大阪2009」が、いよいよスタートします。中之島公園・八軒家浜と水の回廊（大川、土佐堀川、堂島川、木津川、道頓堀川）で囲まれた市内各所で、アートを体験したり、船着場や水辺のマーケットを楽しむなど、多彩なプログラムが予定されています。

主会場となる「水辺の文化座（中之島公園東部）」では、「つくる」「あそぶ」「はなす・観る」の3つのゾーンで構成。大小7棟の仮設小屋や竹の巨大オブジェに覆われた広場を舞台に、全国から集まった100名以上のアーティストと一緒に、「水辺を楽しむ100の方法」と題した市民参加型アートプログラムが日替わりで開催されます。また、夜には灯りプログラムが展開され、中之島公園全体が幻想的な空気に包まれます。

アートを通して水辺と人をつなぎ、人と人をつなぎ、そして、人と歴史をつなぐ52日間。さまざまな“つながり”の仕掛けが散りばめられた水都大阪2009は、ひとりひとりのワクワクする体験をきっかけとして、水都大阪の元気な再生を未来につなげます。



### 「水辺の文化座」プログラムの一例

つくる

#### KOSUGE1-16

履き古したスポーツシューズからサンダルや小物を作ったり、彼らの作品である巨大サッカーゲームを観戦するスタジアムそのものを作ったり、水辺の新しい遊びを参加者同士で作るなど、多彩なワークショップを展開します。

◆KOSUGE1-16／東京都葛飾区小菅を制作拠点とした車田智志乃と土谷淳のアーティストユニット。身近な場所で毎日を豊かにする作品づくりが身上。



#### 藤 浩志

ペットボトルなどを使って「飾り」や「灯り」を制作。完成品は展示し、会場の風景を彩ります。いらなくなったおもちゃを交換する「かえっこバザール」会場も常設。週末にバザールを開催します。

◆藤 浩志／1960年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、パブアニューギニア国立芸術大学講師などを経て美術家として活動。



あそぶ・観る

#### ヤノベケンジ

自ら改造したアート船「ラッキー・ドラゴン」号で、水の回廊各所に点在させた自身の作品を巡るアートツアーを実施。観客は、彼が生み出したキャラクター“なにわのトラやん”に導かれて壮大な水都物語を体験します。

◆ヤノベケンジ／1965年大阪生まれ。京都造形芸術大学教授、大型機械彫刻作家。腹話術人形「なにわのトラやん」をキャラクターに、火を吹く巨大なアート作品「ジャイアント・トラやん」などを制作。



52日間

水都大阪2009実行委員会事務局  
 〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1 大阪キャッスルホテル4階  
 TEL.06-7506-9024 FAX.06-7506-9086  
 http://www.suito-osaka2009.jp

エリア&スケジュール

エリア



スケジュール

★夜間プログラム 参加型 水辺体験 鑑賞型

水都大阪2009 8月22日(土)～10月12日(月・祝)

	8月											9月											10月																														
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
<b>(A) 中之島公園エリア</b>	水辺の文化座(親子で楽しめる体験型アートプログラム等/内容は日替わり)																																																				
	★灯りプログラム(中之島を灯りで彩る鑑賞イベント/参加型は週末に予定)																																																				
	アート船プログラム(アーティストにより装飾された船を展示。週末を中心に水の回廊を巡航)																																																				
<b>(B) 八軒家浜エリア</b>	★ナイトプログラム(大阪の歴史や文化をテーマにした幻想的なショー)																																																				
	朝市(各地の特産品や季節の野菜などを乗せた船が船着場に登場)																																																				
	マーケット&カフェ(大阪の名産品や各地の特産品を販売)																																																				
	水辺の社会実験(中之島公園、八軒家浜を中心に行う市民参加企画)																																																				
	大阪ステキ発見展示(大阪の魅力を発見する写真などのコンテスト発表)																																																				
<b>(C) 中之島水辺エリア</b>	★橋梁ライトアップ(錦橋、難波橋、天神橋を光のアートで彩色)																																																				
	★北浜テラス(土佐堀川の川床で美しい景色と美味しい料理を/定休日あり)																																																				
	水辺の社会実験(中之島公園、八軒家浜を中心に行う市民参加企画)																																																				
	共催事業(地元・企業・行政などとの共同・連携プログラム)																																																				
<b>(D) 水の回廊エリア</b>	クルーズ&ウォーク(まち歩きと川船で水都大阪を楽しむ/事前申込要)																																																				
	船着き場プログラム(本町橋、太左衛門橋、湊町、大阪ドーム千代崎港にて)																																																				
	朝市(各地の特産品や季節の野菜などを乗せた船が船着場に登場)																																																				
<b>(E) まちなかエリア</b>	水都アート回廊(日本銀行大阪支店、大阪証券取引所ビル、大阪市役所ほか)																																																				
	水都大阪2009記念シンポジウム(9月22日/リーガロイヤルホテル)																																																				

上記スケジュールは変更される場合があります。

## 1講座500円・体験講座の見本市!

# 200 DOORS インターナショナルワークショップフェスティバル2009

7月24日～8月22日／大阪市中央公会堂、大阪市立芸術創造館他

一度はやってみたい趣味や習い事を、お試し感覚で体験できる『200 DOORS (ドアーズ)』。今年で3年目を迎えるこのイベントは、「文化は人が創る」をコンセプトに、多くの人が自ら進んで文化創造の扉(DOOR)を開けてほしいという思いではじまりました。一昨年は38講座、昨年は100講座と年々講座数は増え、今年はバラエティー豊かな200講座。会場も7箇所を増やし、アート、映画、音楽、演劇、ダンス、古典芸能、歴史、科学など、どれも1講座500円でプロの手ほどきを受けられます。今年は、平松邦夫大阪市長自らが講師を務める「伝わる・伝える話し方講座(7月29日)」や「まいど1号」プロジェクトに携ってきた棚橋秀行氏のワークショップ(7月28日)など、注目の講座が目白押し。夏休み期間とあって、親子でチャレンジする人も増えています。

問合せ・チケット予約など  
IWF実行委員会事務局(大阪市立芸術創造館内)  
☎090-8533-5714(10:00～18:00)  
<http://www.artcomplex.net/doors>



平松邦夫 大阪市長



棚橋秀行  
東大阪宇宙開発協同組合専務理事



詳しいパンフレットは、大阪市営地下鉄主要駅などに設置しています。



講師陣(7月3日記者発表にて一部)

## 後援・協賛イベント

七月大歌舞伎(大阪松竹座)  
船乗り込み(7月2日/道頓堀川にて)



役者や関係者が浴衣姿で勢揃い(道頓堀・湊町リバープレイス)

時空を越え動く巨大恐竜の世界へ  
大恐竜帝国ATC15thアニバーサリー

動くティラノサウルス(約15m)出現!約6500万年に姿を消した巨大生物「恐竜」をテーマとした、ファミリー向け体験型イベント。  
◆7月18日(土)～8月31日(月)<7/24(金)～26(日)休館>10:00～17:00/ATCホール/問合せ:アジア太平洋トレードセンター株式会社 ☎06-6615-5006

第63回  
水都祭  
天神祭奉納花火  
(7月25日/  
大川一帯)



高畑・宮崎アニメの秘密がわかる  
スタジオジブリ・レイアウト展

「風の谷のナウシカ」から「崖の上のポニョ」まで、宮崎監督直筆のレイアウトを中心に、約1300点を関西初公開。◆7月25日(土)～10月12日(月) 10:30～19:30/サントリーミュージアム[天保山]/問合せ:サントリーミュージアム[天保山] ☎06-6577-0001

JOCハイライトコンサートin OSAKA2009

国内外のヤマハ音楽教室で学ぶ子どもたちによる、自作曲のコンサート。◆7月30日(木) 18:00～20:00/ザ・シンフォニーホール/問合せ:(財)ヤマハ音楽振興会西日本支部 ☎06-6647-1115

堺大魚夜市

700年の歴史をもつ堺の伝統文化。鮮魚の即売や堺伝統産業のPRなど。◆7月31日(金) 16:00～21:00/堺市大浜公園/問合せ:堺大魚夜市実行委員会 ☎072-232-2691

第32回島本夏まつり

「子どもたちに夢と思いを、住む人の連帯と融和」を目的に、盆踊りと夜店による夕べ。  
◆8月1日(土) 17:00～21:30/島本第一中

学校グラウンドおよび周辺/問合せ:島本町商工会青年部 ☎075-962-5112

堂島リバービエンナーレ2009

水都大阪2009と共に大阪まちづくりのムーブメントを盛り上げる、環境をテーマにしたアートイベント。◆8月8日(土)～9月6日(日) 11:00～20:00/堂島リバーフォーラム/問合せ:池内 ☎06-6341-0115

松尾塾子供歌舞伎公演

伝統芸能の歌舞伎を教え、日本人の礼節と心を伝えようと開塾。「菅原伝授手習鏡」増補松王下屋敷 竹本連中ほか◆8月16日(日)14:00～、17(月)12:00～/国立文楽劇場/問合せ:(財)松尾芸能振興財団 ☎03-3407-6316

第29回大阪城新能

◆8月27日(木) 18:00～21:00(雨天の場合は28日に順延)/大阪城西の丸庭園/問合せ: ☎06-6366-1845

第18回枚岡新能

◆9月26日(土) 17:30～20:30/枚岡神社境内特設舞台/問合せ: ☎0743-76-0177

今年は多彩な交流イベントも開催!

## アートストリーム イン サントリーミュージアム [天保山]

10月31日～11月1日 / サントリーミュージアム [天保山] (大阪市港区)

関西を中心に活動している若手アーティストに、作品発表と業界関係者との出会いの場を提供したり、優秀者を表彰するアートイベント(アートストリーム実行委員会主催)。すでに7年目を迎え、業界内では新しい才能を発掘する場として広く認知されており、大阪21世紀協会賞をはじめとするアワードはプロデビューへの登竜門にもなっています。

今年は50ブースによるアートマーケットのほか、アート系シンポジウムや出展者と一般来場者が一緒に楽しむイブニングパーティーなど、多彩な交流イベントを予定。大阪港・天保山界隈の各所でもイベントを行うなど、これまでのアートストリームを拡大して展開します。

### 問合せ

事務局:財団法人大阪21世紀協会  
〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1  
大阪キャッスルホテル4階  
TEL.06-6942-2004 FAX.06-6942-5945



2008年度の出展風景



### 水と歴史の都 大阪ウォーク

日本最大級の2万人規模の都市型ウォーキングイベント。大阪城を中心に、中之島やベイエリアなどを歩き、大阪の魅力を体感。◆10月9日(金)12:00～16:00頃・中之島～USJ～大阪港、10日(土)・11日(日)6:30～17:00頃・空堀～四天王寺～住吉大社 / 問合せ:(財)大阪市のスポーツ・みどり振興協会 ☎06-6586-3820

### 第10回天満音楽祭

「音づくり・仲間づくり・街づくり」をテーマに、多彩なジャンルの音楽を通して街を活性化し、青少年の育成を目指す。◆10月11日(日)10:00～19:00 / 北区民センター、大阪天満宮、OAPプラザビル他 / 問合せ:天満音楽祭実行委員会 ☎06-6358-4577

### 升の市

日本の「市」の起源ともいわれ松尾芭蕉も参加。江戸時代の市の賑わいを時代考証をもとに再現。◆10月17日(土)9:30～15:30 / 住吉公園・松尾芭蕉句碑周辺 / 問合せ:『升の市』実行委員会 ☎06-6782-6274

### 粉体工業展大阪2009

粉体業界の関西地域における総合展。産・官・学の技術交流や粉体技術に関連する産業の発展に寄与することを目的として開催。◆10月21日(水)～24日(土) 10:00～17:00 / インテックス大阪 / 問合せ:(社)日本粉体工業技術協会 ☎075-354-3581

### APPIE産学官連携フェア2009

大学や公的研究機関に蓄積された知識や技術的シーズを公開し、応用展開するための産学官提携の出会いの場を提供。◆10月23日(金) 9:30～17:30 / インテックス大阪 / 問合せ:(社)日本粉体工業技術協会 ☎075-354-3581

### 第24回摂津音楽祭(リトル・カメラアコンクール)

クラシック部門での有能な新人音楽家の発掘と音楽文化の発展・向上をめざした全国規模のコンクール。◆11月8日(日)10:00～19:00 / 摂津市民文化ホール / 問合せ:(財)摂津市施設管理公社 ☎072-635-1404

### CYCLE MODE international 2009

◆11月28日(土)～29日(日)10:00～17:00 / インテックス大阪 / 問合せ:テレビ大阪株式会社 ☎06-6947-0284

※ここに掲載する以外にも、大阪21世紀協会は多数のイベントなどを後援しています。

### 大阪21世紀協会賛助会員へ入会のお願い

大阪の活性化のため、皆様のご支援をお願いします。

会費(何口でも結構です)

■法人会員 一口につき年会費10万円

■個人会員 一口につき年会費1万円

特典

1.協会が発行する刊行物の配布

2.協会が主催する各種セミナーなどへの案内

3.賛助会員の参考となる情報・資料の提供など

お問合せ (財)大阪21世紀協会 総務グループ TEL.06-6942-2001

# 誌上 舞台 文楽

太夫と三味線の演奏する義太夫節に合わせ、人形(3人遣い)が芝居を演じる人形浄瑠璃の一つ。江戸初期、道頓堀の竹本座ではじまった。2003年、ユネスコの世界無形遺産登録。

## 文楽 太夫



竹本文字久大夫(たけもとひさだゆう)

三重県出身。大学で演劇を専攻し、在学中に新国劇に入団。舞台俳優として出発する。邦楽への興味をきっかけに文楽への転身を決意。昭和55年、文楽養成7期生となり、57年に七世竹本住大夫入門。同年7月、大阪朝日座「彦山権現誓助剱」杉坂墓所「弥三松」で初舞台。平成6年文楽協会賞、9年国立劇場文楽奨励賞など。

数ある近松門左衛門の心中物の中で最高峰とされるのが本作。享保5年(1720)10月、網島であつた情死事件を題材としています。

『曾根崎心中』は近松の大ヒット作ですが、文学性では『心中天網島』が上回るといいます。冒頭にある小春のクドキ(サワリ)から、

へお前様の推量のとおり紙治様と死ぬる約束、親方にせかれて、

と、わざと「結末は心中」だと明かしてはいますが、最後まで観客を飽きさせない力があります。それは心理描写の巧みさです。不

## 女二人の義理と意地が切ない 心中天網島

案内人 竹本文字久大夫

出来な弟を諭す兄の情、立場を越えて女ゆえの苦しみを理解し互いに義理立てするおさんと小春。「300年前も今も人の心は同じ」と誰もが共感できる普遍性があるからこそ、心打たれるんやと思います。

この小春のクドキは文楽の義太夫節に、繁太夫節という珍しい節回しが入れられていますので、ぜひお聴き逃しのないように。

また、そこかしこに散りばめられた縁語も含蓄がありますよ。題名は、実際に二人が命を絶つた網島と、どんなにもがいても天罰や法の網からは逃れられんという二重の意味。天神さんの門前で紙屋を営む治兵衛が、神仏や商いを疎かにして、神無月(10月)に遊女と死ぬ。小春は10月の異称でカギになるのは手紙(起請、誓紙)などなど。

この奥深い作品世界を心で感じ取ってもらえるよう語るのが太夫。と言うても私はまだまだだ…。

### 物語のあらすじ

#### 文楽「心中天網島」

紙屋治兵衛は曾根崎新地の遊女小春と愛し合い、あの世で添い遂げようと心中の約束を交わしています。

心配した治兵衛の兄の孫右衛門は小春の本性を探りに行き、「本当は死にたくない」と小春が打ち明けるのを偶然立ち聞きした治兵衛は逆上し、別れを告げます。実は小春は治兵衛の妻おさんから手紙をもらい、わざと嘘をついたのです。後日、おさんは小春が意に染まぬ相手に身請けされると知り、治兵衛にすべてを打ち明け、身請け金を工面しようとしてします。しかし治兵衛を快く思わない父親に実家へ連れ戻されてしまいます。

八方塞がりになった治兵衛は小春と網島で心中を遂げるのでした。



二人は曾根崎新地から網島まで橋の名をたどりつつ心中の道行きへ。



貞広画「大川天神橋天満橋」(浪華風景之内) 大阪府立中之島図書館提供

### 文楽を楽しみに行きませんか

#### ●開場25周年記念 錦秋公演

10月31日(土)~11月23日(祝) ※11月12日(木)は休演。

1等:一般5800円・学生4100円

2等:一般・学生とも2300円

第1部:午前11時開演「心中天網島」

第2部:午後4時開演「芦屋道満大内鑑」

※11月13日(金)より1部と2部の演目を入替。

会場/国立文楽劇場

交通/地下鉄・近鉄「日本橋」下車

☎06-6212-2531 (同劇場) <http://www.ntj.jac.go.jp/>